

受賞者からのコメント

● 授業を行うにあたって工夫していること

そんなに大層な内容の講義をしていないので偉そうなことは何も言えませんが、自分なりに心がけていることとして、どんなに良い内容の講義をしても、聞いてもらえなければ意味がないので、10割の内容で3割しか覚えられない講義ではなく、5割の内容の講義で4割覚えてもらうことを意識しています。

飽きさせないために、世間話などを交え、息抜きができるようにしてます（メリハリは長時間手術を行う際にも大事なことなので・・・）。また、臨床写真のスライドを多く使用し、視覚に訴えるよう心がけています。手術の様子や、診療上のエピソードなど、臨床の匂いのする話になると学生は非常に興味を持って聞くように思います。

講義の終わりに感想用紙を配り、質問などには次の講義でそれについて答えるなど、一方通行で終わらないようにしています。

● 学生への要望・アドバイス等

ありきたりのことで恐縮ですが、配布されたプリントを後で見ようと思わず、講義で述べられ、プリントに書いていないことを、例えば簡単なイラストやマーカーで書きこみながら聞くことで、集中でき、より頭に残ると思います。

出席率の問題があるのでなかなか難しいかもしれませんが、講義で寝ている位ならば時間の無駄なので、帰って遊んだ方がまだいいと思います。時間を大切に使いましょう。

私の講義の場合は感想用紙を配るので、真面目な質問でもふざけた内容でも記憶に残ったことでもなんでもかまわないので、自由に書き込んで、次の授業でネタにされるかも！とドキドキしながら授業に臨むことで、より緊張感が持てると思います。